



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 扶桑薬品工業株式会社  
コード番号 4538 URL <http://www.fuso-pharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼経理部長

(氏名) 戸田 幹雄

(氏名) 高橋 貞雄

TEL 06-6969-1131

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日

平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	23,250	△0.9	183	△46.4	183	△42.8	106	△46.9
27年3月期第2四半期	23,470	△4.3	342	△78.9	321	△80.4	200	△81.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	1.18	—
27年3月期第2四半期	2.22	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	72,217		33,296			46.1
27年3月期	68,627		33,538			48.9

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 33,296百万円 27年3月期 33,538百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—	4.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△2.2	600	△24.7	400	△41.1	300	△12.0	3.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	94,511,690 株	27年3月期	94,511,690 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	4,071,940 株	27年3月期	4,055,188 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	90,448,051 株	27年3月期2Q	90,478,428 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府・日本銀行による経済対策及び金融政策の推進を背景に、企業収益・雇用情勢の改善や個人消費及び設備投資に持ち直しの動きがみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、一方で、円安による原材料価格の上昇や中国経済の減速など景気の下押しリスクもあり、依然として先行きは不透明な状況が続きました。

医薬品業界におきましては、高齢者の増加や医療の高度化等に伴い増大する国民医療費に対して、薬価改定や後発医薬品使用促進策など医療費抑制政策が強化されるなか、研究開発費の増加、企業間競争の激化など取り組むべき課題が山積し、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと、当社は、医療において強く求められている輸液などの基礎的医薬品の安定供給に努めるとともに、業績の確保に向け、主力製品の人工腎臓用透析剤キンダリーなど人工透析関連製薬品を中心に販売促進を図るほか、新規取引先の開拓に取り組むなど営業活動に邁進してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は当初計画を若干上回りましたものの、前年同四半期と比べ2億20百万円(0.9%)減少の232億50百万円となりました。また、利益面では研究開発費の増加などで販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は1億83百万円と前年同四半期と比べ1億58百万円(46.4%)の減少、経常利益は1億83百万円と前年同四半期と比べ1億37百万円(42.8%)の減少、四半期純利益は1億6百万円と前年同四半期と比べ94百万円(46.9%)の減少となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、722億17百万円と前事業年度末と比べ35億90百万円(5.2%)の増加、負債は389億20百万円と前事業年度末と比べ38億32百万円(10.9%)の増加、純資産は332億96百万円と前事業年度末と比べ2億41百万円(0.7%)の減少となりました。

なお、自己資本比率は46.1%と前事業年度末に比べ2.8%の減少となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ30億76百万円増加し、89億75百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費の計上や売上債権、たな卸資産の減少等があったものの、仕入債務の減少等により18億31百万円の収入となりました。(前年同四半期は19億35百万円の収入)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により24億25百万円の支出となりました。(前年同四半期は4億83百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等があったものの、長期借入金の増加等により36億70百万円の収入となりました。(前年同四半期は4億58百万円の収入)

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、現時点では平成27年3月期決算発表時(平成27年5月8日)に公表いたしました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法については、従来、定率法(ただし、茨城工場及び平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法)を採用しておりましたが、第1四半期会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、当事業年度における茨城工場及び城東工場における大型設備の新設を契機として、保有する有形固定資産の使用実態を調査・検討した結果、生産設備全般につき耐用年数にわたり長期安定的に稼働しており、また将来も同様の状況が見込まれることから、期間損益計算をより適正に行うためには使用期間にわたって均等に原価配分を行うことが適切であると判断し定額法を採用したものです。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べ、当第2四半期累計期間の減価償却費は1億48百万円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ1億41百万円増加しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,898	8,975
受取手形及び売掛金	21,181	20,301
商品及び製品	7,807	7,396
仕掛品	103	37
原材料及び貯蔵品	1,377	1,216
その他	1,065	847
貸倒引当金	△2	-
流動資産合計	37,431	38,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,587	7,624
土地	9,968	9,968
その他(純額)	6,895	9,061
有形固定資産合計	24,452	26,654
無形固定資産	388	404
投資その他の資産	6,354	6,383
固定資産合計	31,195	33,442
資産合計	68,627	72,217
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,326	8,761
電子記録債務	3,024	2,687
短期借入金	6,138	6,641
未払法人税等	-	162
賞与引当金	936	894
その他の引当金	306	304
その他	6,698	7,238
流動負債合計	26,430	26,690
固定負債		
社債	190	152
長期借入金	4,940	8,563
退職給付引当金	1,439	1,422
その他の引当金	233	236
その他	1,855	1,856
固定負債合計	8,658	12,230
負債合計	35,088	38,920

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	15,010	15,010
利益剰余金	12,313	12,058
自己株式	△1,438	△1,443
株主資本合計	36,644	36,384
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,166	1,185
土地再評価差額金	△4,272	△4,272
評価・換算差額等合計	△3,106	△3,087
純資産合計	33,538	33,296
負債純資産合計	68,627	72,217

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	23,470	23,250
売上原価	17,026	16,861
売上総利益	6,444	6,388
返品調整引当金戻入額	0	0
差引売上総利益	6,445	6,389
販売費及び一般管理費	6,103	6,205
営業利益	342	183
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	47	37
保険関係収益	72	87
投資事業組合運用益	5	49
その他	52	74
営業外収益合計	185	259
営業外費用		
支払利息	108	105
生命保険料	64	72
支払手数料	-	64
その他	32	16
営業外費用合計	206	259
経常利益	321	183
特別損失		
固定資産除却損	16	16
特別損失合計	16	16
税引前四半期純利益	304	167
法人税、住民税及び事業税	127	101
法人税等調整額	△23	△39
法人税等合計	103	61
四半期純利益	200	106



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	304	167
減価償却費	913	733
投資事業組合運用損益(△は益)	3	△41
固定資産除却損	16	16
賞与引当金の増減額(△は減少)	29	△42
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15	△16
受取利息及び受取配当金	△54	△48
支払利息	108	105
売上債権の増減額(△は増加)	374	880
たな卸資産の増減額(△は増加)	△152	637
仕入債務の増減額(△は減少)	91	△902
その他	304	82
小計	1,955	1,573
利息及び配当金の受取額	55	48
利息の支払額	△113	△110
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	37	320
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,935	1,831
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△470	△2,337
投資事業組合への出資による支出	△40	△4
投資事業組合からの分配による収入	26	68
定期預金の払戻による収入	100	-
その他	△99	△152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△483	△2,425
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,450	5,600
長期借入金の返済による支出	△1,534	△1,473
社債の償還による支出	△88	△88
自己株式の取得による支出	△5	△5
配当金の支払額	△361	△360
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	458	3,670
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,910	3,076
現金及び現金同等物の期首残高	7,801	5,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,711	8,975

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。